

第2回生産性向上委員会

日立オートモティブシステムズ of 取組事例と工場見学

2011年12月13日(火) 於:日立オートモティブシステムズ(株)厚木事業所



これまでの品質改善委員会改め、今年度より新たにスタートした生産性向上委員会の第2回目。今回は、自動車を走らせる上で欠かすことができない電子制御システム製品等を製造する日立オートモティブシステムズの厚木事業所にお伺いし、同社のエンジン機構部品(ピストン)の品質および生産性向上のための取組事例とQCサークル活動事例(神奈川県 of QCサークル大会で大会賞、感動賞、神奈川新聞賞の3賞を取得)をご紹介いただいた後、工場見学を行なった。

QCサークル活動事例

「シャフト回転トルクNG不良撲滅への挑戦」

チーム名:ハッスルハッスルサークル

活動期間:2011年2月1日~5月13日

同チームでは、エンジン下部のバルブサーユニット組み立て工程時に発生する不良の撲滅に向け活動を開始。まずは現状分析からQC7つ道具のひとつ「特性要因図」を用い要因を分析。カン・コツ作業をなくし、作業者にやさしく負荷の掛からないアシスト治具の考案と軽量化を図った。対策以降、不良発生が「0」となり、成果は不適合品全体で33%削減。コストダウンも実現し、全員参加の運営でサークルも大きく成長した。

事例紹介後、ピストンやバルブリフト量をコントロールする部品等の製造現場を見学させていただいた。最後の質疑応答では参加者より活発な質問がなされた。(文責 事務局)